

令和元年度第2回岩手県発達障がい者支援体制整備検討委員会・広域特別支援連携協議会

県教育委員会事務局学校教育課資料

## 令和元年度いわて特別支援教育推進プラン等施策の取組状況について

平成31年3月に策定した「いわて特別支援教育推進プラン」に基づき、「つなぐ」、「いかす」、「支える」の三つのキーワードごとの施策の方向性と具体的施策により「共に学び、共に育つ教育」の推進を図り、すべての人が互いを尊重し、心豊かに主体的に生活することのできる共生社会の実現を目指す。

令和元年度における推進状況 ★新規・重点施策 ○継続施策

## つなぐ ～就学から卒業までの一貫した支援の充実～

## ★「教育支援のためのガイドライン」に基づく早期からの教育相談・支援

## ☑「市町村教育支援担当者研修会」の実施【済】

- ・期日及び会場 令和元年5月24日（金） 総合教育センター
- ・内容 行政説明及び地域における早期からの継続的な支援体制についての協議
- ・参加者 県内各市町村教育委員会教育支援担当者34名

## ☑教育支援に係るリーフレット等の作成・活用による、就学や福祉に関する保護者への事前の情報提供・就学支援【取組中】

各市町村等において就学に関するリーフレット等を作成・活用が進められてきており、今後は、福祉に関する情報も盛り込むとともに、提供方法についても市町村の実情を踏まえて検討し、さらに充実した取組となるよう進めている。

## ★引継ぎシート等の活用による継続した支援

## ☑引継ぎシートの開発【取組中】

総合教育センターにおいて、学校間や学校と医療機関をつなぐ「引継ぎシート」の様式の開発を進めるとともに、併せて運用方法についても検討している。令和2年度は、運用を含めた周知期間として取組を進めている。

## ★特別支援学校等と地域企業等との連携

## ☑企業との連携協議会の実施【取組中】

事業所・企業に特別支援学校や障がいのある生徒への理解促進・就労への協力等を得るために、地域の特別支援学校と企業との連携協議会を設立し、年2回程度開催した。

企業との連携協議会を令和3年度から二戸地区で開催することができるよう、関係機関との情報共有の基、今後の進め方について調整を図っている。

地区名	担当学校名	参加企業・事業所数
盛岡	盛岡峰南高等支援、盛岡みたけ支援、盛岡ひがし支援	17
花巻・北上・遠野	花巻清風支援	14
奥州	前沢明峰支援	3
一関	一関清明支援	8
大船渡・陸前高田	気仙光陵支援	34

釜石	釜石祥雲支援	9
宮古	宮古恵風支援	10
久慈	久慈拓陽支援	38

※令和元年 12 月末現在 延べ数

☑サポーター企業の周知・表彰【取組中】

特別支援学校高等部に在籍する生徒の就業体験等の受入れ支援を行っている企業（令和元年 5 月 1 日現在 103 企業等）を県民に広く周知するとともに、5 年間継続して支援をいただいている企業に対して、令和 2 年度に感謝状を贈呈するための準備作業を行っている。

○特別支援学校技能認定会を活用した教育活動

☑特別支援学校技能認定会の実施【済】

特別支援学校高等部生徒の働くために必要な技能や態度、意欲などの向上を図るとともに、企業や関係機関の生徒理解や実習及び雇用機会の拡大を図ることを目的に、平成 29 年度から技能認定会を実施している。

- ・期日及び会場 令和元年 11 月 14 日（木） 花巻市総合体育館
- ・内 容 技能認定種目（清掃、事務補助、物品運搬）  
デモンストレーション種目（パソコンへのデータ入力、マッサージ）
- ・参加者 県立特別支援学校高等部生徒 126 名
- ・協力企業 23 企業 ※審査員として協力

つなぐ ～就学から卒業までの一貫した支援の充実～

【成果】

- ・就学前及び就学移行期に焦点を当てた具体的施策を展開し、早期からの継続した教育支援体制の整備につなげるための見通しをもつことができた。
- ・サポーター企業や特別支援学校技能認定会への協力企業等の増加など、卒業後を見据えた進路・就労支援、卒業後の学校や企業・福祉機関等との情報共有につなげることができた。

【課題】

- ・本県が進めている具体的施策を基にしながら、各圏域・市町村の実情に応じて、関係機関等と連携を図りながら、早期からの継続した教育支援体制を構築していくこと。

## いかす ～各校種における指導・支援の充実～

### ○継続型訪問支援・随時相談支援を活用した指導・支援

#### ☑継続型訪問支援・随時相談支援の実施【取組中】

特別支援学級、幼稚園（保育所、認定こども園含む）80校園を対象に、年間3回程度の継続型訪問支援を実施している。

そのほか、特別支援学校による地域支援の一環として、すべての校園を対象に随時相談支援を実施している。

### ★地域における特別支援教育コーディネーター連絡会を活用した指導・支援

#### ☑特別支援教育コーディネーター連絡会による研修等の実施【取組中】

県内6地区において特別支援学校と小中学校等の特別支援教育コーディネーターを対象とした研修会を実施した。

〔盛岡北地区〕令和元年8月9日（金）滝沢ふるさと交流館 参加者 37名

講義「特別支援教育コーディネーターの役割と連携の実際」

岩手大学教育学部特別支援教育科 教授 柴垣 登 氏

〔盛岡中央地区〕平成31年4月26日（金）都南公民館 参加者 66名

講話「特別支援教育を推進する教師に求められるもの」

盛岡市立厨川中学校 指導教諭 大林 朋子 氏

〔盛岡南地区〕令和元年8月7日（水）滝沢ふるさと交流館 参加者 31名

講義「特別支援教育の基本的な考え方と特別支援教育コーディネーターの役割」

県教育委員会事務局学校教育課 主任指導主事 五安城 正 敏

〔中部・県南地区〕令和2年1月7日（火）まなび学園 参加者 75名

講義「学習障害の特性理解と校内体制について」

岩手大学教育学部特別支援教育科 准教授 滝 吉 美知香 氏

〔沿岸3地区〕令和元年12月2日（月）シーサイドタウンマスト 参加者 50名

講義「事例から学ぶ通常学級における支援」

岩手大学大学院教育学研究科 准教授 佐々木 全 氏

〔県北地区〕令和元年8月1日（木）二戸地区合同庁舎 参加者 38名

講義「特別支援教育コーディネーターの役割について」

岩手大学教育学部特別支援教育科 准教授 鈴木 恵 太 氏

#### ☑特別支援教育中核コーディネーターの養成・委嘱、活用【取組中】

地域における特別支援教育の推進的役割を担う小中学校等の教員に委嘱し、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターと連携を図りながら各校の支援に携わる。県北地区において先行的に実施し、来年度以降、全県へ取組を広げる予定。

### ○エリアコーディネーターの配置・運用

#### ☑エリアコーディネーターの配置・運用【取組中】

各教育事務所内の特別支援学校1校、合計6名を配置し、地域の特別支援教育の推進に向けて、教育事務所や市町村教育委員会業務への支援、関係機関や関係者との連絡・調整に関する支援を行っている。

・対応延べ件数：786件（内訳 支援・教育相談関係：461件 研修関係：325件）

※令和元年12月末現在

○各校種や地域の実情・ニーズに応じた研修

☑幼児期における特別支援教育研修会【済】

[盛岡会場] 令和元年6月8日(土) ふれあいランド岩手 参加者50名

講義「特別な支援を必要とする幼児への計画的・組織的な指導」

奥州市立幼保連携型認定こども園あゆみ園 副所長 有住百香里氏

講義「特別な支援を必要とする幼児の就学相談・手続き」

県教育委員会事務局学校教育課 主任指導主事 五安城正敏

講義「本県における障がい福祉施策等」

県保健福祉部障がい保健福祉課 主任 佐藤祐基

[久慈会場] 令和元年6月22日(土) 久慈地区合同庁舎 参加者27名

講義「特別な支援を必要とする幼児への計画的・組織的な指導」

社会福祉法人幸町保育会幸町保育園 主任保育士 金濱侑子氏

保育士 下斗米千寿留氏

講義「特別な支援を必要とする幼児の就学相談・手続き」

県教育委員会事務局学校教育課 主任指導主事 五安城正敏

講義「本県における障がい福祉施策等」

県保健福祉部障がい保健福祉課 療育専門員 藤澤広偉

☑特別支援教育支援員スキルアップ研修会【済】

令和元年8月5日(月) ふれあいランド岩手 参加者112名

講義「支援を要する児童生徒の困難さの理解と支援」

県北教育事務所 特別支援教育エリアコーディネーター 梅野佳和

講義「本県における障がい福祉施策等」

県保健福祉部障がい保健福祉課 主査 二本松芳紀

実践紹介「特別支援教育支援員による取組」

県立福岡高等学校定時制課程 特別支援教育支援員 松浦睦子

協議「児童生徒への望ましい支援」

☑高等学校特別支援教育コーディネーター研修【済】

令和元年6月24日(月) 総合教育センター 参加者76名

ベーシックコース 講義 「特別支援教育コーディネーターの役割」

講義 「発達障がいの基本的理解と対応」

アドバンスコース 協議・講義 「校内外の資源を活用した実践事例」

合同 講義 「国及び本県における特別支援教育」

協議 「高等学校における特別支援教育の推進」

★特別支援学級・通級による指導担当教員を対象とした継続的な研修

☑継続型ステップアップ研修の実施【済】

特別支援教育新任担当、2年目担当、3年目担当(令和2年度から)を対象とした継続型の研修を実施した。

【1年目】特別研修(新任研修)「担任・担当としての基礎力形成」

ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰ(前期)・・・教育事務所実施

イ 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰ(後期)・・・総合教育センター実施

ウ その他

希望研修として、特別支援教育新任担当教員研修講座(スタート研)を年度当初に実施

【2年目】特別研修(教職専門等研修)「担任・担当としての実践力向上」

ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅱ・・・総合教育センター、特別支援学校実施

【3年目】特別研修(教職専門等研修)「学校組織による特別支援教育の推進」

ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅲ・・・総合教育センター実施

★すべての校種における交流及び共同学習

☑「交流籍」を活用した交流及び共同学習の円滑な実施【取組中】

特別支援学校の小・中学部に在籍する児童生徒が、居住する地域との関わりを充実させるために、居住する地域の小・中学校に副次的な籍である「交流籍」を位置付け、居住地校との交流及び共同学習を推進している。

小・中学部を設置しているすべての県立特別支援学校から、年度当初 355 名（前年比 14 名減）の申請があり、各校や児童生徒の実情に即した取組を進めている。

☑各年齢段階での交流及び共同学習の実施【取組中】

幼稚園段階においては、特別支援学校に通学する幼児と近隣幼稚園等や居住地の幼稚園等との交流及び共同学習を実施している。高等学校段階においては、特別支援学校と近隣高等学校との交流及び共同学習を実施するとともに、スポーツ・文化芸術活動を通じた交流及び共同学習についても取組を広げていく。

いかす ～各校種における指導・支援の充実～

【成果】

- ・すべての校種における特別支援教育体制への支援、相談体制の整備等に焦点を当てた具体的施策を展開し、地域資源を活用した指導・支援の充実につなげることができた。
- ・各校種の特別支援教育の推進を支える教職員の専門性の向上について、関係機関と連携を図りながら具体的施策を展開することができた。

【課題】

- ・適時性・継続性等の視点による、校内での一次支援、近隣校や関係教育委員会等による二次支援、特別支援学校等による三次支援のような段階的な支援体制を構築していくこと。

支える ～教育環境の充実・県民理解の促進～

★特別支援学級・通級指導教室の総合的観点による整備

☑特別支援学級・通級指導教室の整備推進【済】

特別支援学級の状況（令和元年5月1日現在）

障がい種別	小学校・義務教育学校前期課程				中学校・義務教育学校後期課程				計			
	児童数	前年度比	学級数	前年度比	生徒数	前年度比	学級数	前年度比	児童生徒数	前年度比	学級数	前年度比
弱視	8	4	5	1	3	-1	3	-1	11	3	8	0
難聴	35	7	23	2	6	-4	6	-4	41	3	29	-2
知的障がい	832	35	254	5	362	-24	123	-5	1,194	11	377	0
肢体不自由	39	0	26	1	10	2	8	1	49	2	34	2
病弱・身体虚弱	29	4	18	-1	10	0	8	0	39	4	26	-1
自閉症・情緒障がい	745	66	240	20	369	67	118	11	1,114	133	358	31
計	1,688	116	566	47	760	40	266	2	2,448	156	832	30

通級指導教室の状況（令和元年5月1日現在）

障がい種別	小学校・義務教育学校前期課程				中学校・義務教育学校後期課程				計			
	児童数	前年度比	教室数	前年度比	生徒数	前年度比	教室数	前年度比	児童生徒数	前年度比	教室数	前年度比
難聴・言語障がい	1,191	-25	86	0	3	0	1	0	1,194	-25	87	0
LD等	210	47	16	2	70	4	11	3	280	51	27	5
計	1,401	22	102	2	73	4	12	3	1,474	26	114	5

○特別支援教育支援員等の総合的観点による配置

☑特別支援教育支援員等の配置【済】

県立高等学校 34 校に 38 名の特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を必要とする生徒への学習や生活上の支援にあたっている。

○外部専門家の活用

☑スクールソーシャルワーカー等による福祉機関等とのネットワーク活用【取組中】

各教育事務所にスクールソーシャルワーカー18名を配置し、問題行動等の未然防止・早期発見及び関係機関等との連絡・調整等を行っている。

県立学校については、岩手県社会福祉士会に業務を委託し、各学校の依頼による出張相談・電話相談を行っている。

☑スクールカウンセラーによる心のケア【取組中】

各校にカウンセラー10名を派遣し、心理的な不安等を抱える児童生徒及び教職員、保護者等への支援の充実を図っている。

年間実施回数	年間時数
88回	264時間

☑特別支援学校等における各種技能士等の活用【取組中】

各校の教育課程等を踏まえた要望により、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、視機能訓練士等を派遣し、教育活動の充実につなげている。

配置人数	年間時数
19名	584時間

★特別支援学校の整備推進

☑特別支援学校整備計画の策定と推進【取組中】

県全体及び各圏域の実情、長期入院児童生徒への学びの場等の視点を踏まえた整備計画の策定に取り組んでいる。

特別支援学校の状況（令和元年5月1日現在）

学校名		幼稚部		小学部		中学部		高等部		専攻科		合計	
		幼児	学級	児童	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級
県立	盛岡視覚支援			8	5	9	5	3	3	7	5	27	18
	盛岡聴覚支援	3	1	12	4	13	5	20	8	1	1	49	19
	盛岡となん支援			64	23	25	10	35	14			124	47
	盛岡青松支援			10	4	24	9	30	9			64	22
	盛岡峰南高等支援							108	12			108	12
	盛岡みたけ支援			88	20	50	14	94	18			232	52
	同奥中山校			14	5	8	4					22	9
	盛岡ひがし支援			38	10	7	3	16	3			61	16
	花巻清風支援			57	17	52	15	101	18			210	50
	前沢明峰支援			36	11	41	10	76	13			153	34
	一関清明支援	4	1	57	23	32	13	89	18			182	55
	気仙光陵支援			14	7	9	3	46	7			69	17
	釜石祥雲支援			18	8	15	6	32	8			65	22
	宮古恵風支援			20	7	18	6	37	7			75	20
	久慈拓陽支援			27	9	11	4	42	8			80	21
小計		7	2	463	153	314	107	729	146	8	6	1521	414
国立	岩大附属			18	3	17	3	24	3			59	9
私立	三愛学舎							40	3	21	2	61	5
小計				18	3	17	3	64	6	21	2	120	14
合計		7	2	481	156	331	110	793	152	29	8	1641	428

○医療的ケア児に係る看護師の配置

☑特別支援学校における看護師の配置【済】

7校40名の医療的ケアが必要な児童生徒を対象に、看護師40名を任用して対応している。

○県民向け公開講座

☑県民向け公開講座や広報活動の実施【済】

・子ども未来支援セミナー

〔盛岡会場〕 令和元年9月29日（日） マリオス（盛岡地域交流センター） 参加者60名

講演「子どもの失敗する権利と大人の誉める権利」

明星大学心理学部心理学科 教授 竹内康二氏

〔二戸会場〕 令和元年10月5日（土） 二戸地区合同庁舎 参加者35名

講演「子どもの育ちを支える」

奥州市子育て総合支援センター 所長 菅原敬子氏

〔大船渡会場〕 令和元年10月26日（土） 大船渡地区合同庁舎 参加者29名

講演「ちょっと気になる子どもの理解と適切なサポート」

岩手大学大学院教育学研究科 特命教授 東信之氏

- ・いわてこども発達支援サポートブック  
各種研修会や会議等における紹介、ポスターの掲示等

## ○特別支援教育サポーター養成

### ☑特別支援教育サポーター養成講座の開催【済】

今年度は、盛岡視覚支援学校、一関清明支援学校、気仙光陵支援学校の3校において、特別支援教育サポーター養成講座（全8回）を開催し、特別支援教育に関する県民の理解及び地域とともにある学校づくりにつなげた。

〔盛岡視覚支援学校〕

開催回数	参加延べ人数	修了生数	ボランティア登録者
8回	118名	15名	15名

〔一関清明支援学校〕

開催回数	参加延べ人数	修了生数	ボランティア登録者
8回	40名	5名	3名

〔気仙光陵支援学校〕

開催回数	参加延べ人数	修了生数	ボランティア登録者
8回	104名	14名	12名

## ★スポーツ活動、文化芸術活動を通じた生きがいづくり、地域とのつながりづくり

### ☑各団体等と連携した事業の実施【済】

県文化スポーツ部、県教育委員会事務局において各種事業を実施し、幅広い分野のスポーツ活動、文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げた。

#### 文化振興課

- ・いわてアール・ブリュット巡回展 2019
  - 〔滝沢会場〕 令和元年 10月10日（木）～10月24日（木）ビッグルーフ滝沢
  - 〔一戸会場〕 令和元年 10月26日（土）～11月11日（月）岩手県立児童館いわて子どもの森
  - 〔奥州会場〕 令和元年 12月4日（水）～12月24日（火）水沢メイプル
  - 〔大船渡会場〕 令和2年 1月7日（火）～1月19日（日）サン・リア
- ・いしがきミュージックフェスティバル  
カワトクステージに4団体出演
- ・障がい者アート活動支援研修会  
令和元年9月30日（月）岩手県高校教育会館  
講師 るんびにい美術館 アートディレクター 板垣崇志氏
- ・障がいのある人の創作・表現活動支援に関する研修会  
令和元年10月18日（金）アイーナ  
講師 NPO法人 アートリンクうちのあかり 代表 安藤郁子氏
- ・岩手県障がい者文化芸術祭  
令和元年11月14日（木）～12月1日（日）ふれあいランド岩手
- ・著作権等の権利保護に関する研修会  
開催予定
- ・障がい者アート商品化講演会  
開催予定
- ・外部有識者による協力委員会  
年間2回開催



## スポーツ振興課

### ・スポーツ教室

教室名	実施回数	備考
ボッチャ教室	2	
グラウンドゴルフ教室	4	うち1回は視覚障がい者を対象
登山教室	2	うち1回は視覚障がい者を対象
トレッキング教室	1	
キャンプ体験教室	1	
ゲートボール教室	2	
卓球バレー教室	2	うち1回は視覚障がい者を対象
スキー交流会	1	
ボウリング交流会	2	うち1回は視覚障がい者を対象
S S T教室	2	視覚障がい者を対象
ウォーキング	2	視覚障がい者を対象

### ・障がい者スポーツ指導員養成

障がい者スポーツ指導員養成講習会（初級障がい者スポーツ指導員養成講習会、中級障がい者スポーツ指導員養成講習会、フォローアップ研修会）を開催

### ・岩手県障がい者スポーツ大会

令和元年6月1日（土）岩手県営運動公園ほか

### ・フライングディスク交流大会

令和元年8月3日（土）ふれあいランド岩手

### ・岩手県卓球バレー交流大会2019

令和元年10月20日（日）ふれあいランド岩手

### ・競技スポーツ団体等における障がい者スポーツ推進事業

岩手県バレーボール協会、一般社団法人岩手県水泳連盟に委託

### ・統合型地域スポーツ団体等における障がい者スポーツ推進事業

NPO法人総合型りくぜんたかた、NPO法人エムジョイに委託

### ・パラリンピック選手育成強化事業

強化指定選手及び介助者の遠征経費等

### ・障がい者スポーツ育成研修会

年間3回の全体研修、別途、競技別実技指導研修

### ・全国障がい者スポーツ大会等への参加支援

北海道・東北ブロック予選会、全国大会への参加支援

## 生涯学習文化財課

### ・子育て支援活動交流研修会

令和元年9月5日（木）生涯学習推進センター

「障害者の生涯を通じた多様な学習活動の充実について～文部科学省の取組～」

講師 文部科学省総合政策局男女共同参画共生社会学習・安全課

障害者学習支援推進室長 小林美保氏

## 保健体育課

### ・オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

- 〔小学校〕 盛岡市立仙北小学校、西和賀町立湯田小学校、釜石市立鶴住居小学校
- 〔中学校〕 盛岡市立見前中学校、岩手町立沼宮内中学校、紫波町立紫波第三中学校、西和賀町立湯田中学校、奥州市立水沢中学校、山田町立豊間根中学校、二戸市立金田一中学校
- 〔義務教育学校〕 大槌町立大槌学園
- 〔高等学校〕 盛岡南高等学校、久慈東高等学校
- 〔特別支援学校〕 盛岡みたけ支援学校、盛岡峰南高等支援学校、花巻清風支援学校

### ☑岩手県特別支援学校作品展等の周知【済】

関係機関への案内文書のほか、広報誌等を通じて広く周知した。

令和元年 11 月 22 日（金）～24 日（日） いわて県民情報交流センター「アイーナ」

## 支える ～教育環境の充実・県民理解の促進～

### 【成果】

- ・外部専門家・医療との連携等の具体的施策を展開し、多様なニーズに対応した教育環境の充実につなげることができた。
- ・共生社会の形成に向けた県民の理解につながる多様な具体的施策を展開することができた。

### 【課題】

- ・特別支援学校整備計画の策定を通して、各校種の実情に応じた教育諸条件等の整理と計画的な整備が必要であること。